

授業科目名・形態	介護過程Ⅲ	講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	山田 克宏		実務経験の有無	有	開講期	2年後期

【授業の主題】

本講では、クライアントの望む生活の実現に向けて、生活課題の分析を行い、根拠に基づく介護実践を伴う課題解決の思考過程を学ぶ。また、介護過程のプロセス、ケアプランと個別援助計画の関係性、チームとして介護過程を展開していく意味・意義や方法に関して理解を深める。

【到達目標】

- 1) 介護過程とケアマネジメントの関係性を説明できる。
- 2) チームアプローチにおける各職種の役割について説明できる。
- 3) 介護過程とケアマネジメントの関係性について説明できる。
- 4) 対象者の状態や状況に応じた介護過程の展開方法について説明できる。

【授業計画・内容】

- 第 1 回 介護過程の意義、目的・目標
- 第 2 回 チームアプローチにおける各職種の役割(講義)
- 第 3 回 介護過程とチームアプローチ(演習)
- 第 4 回 介護過程とケアマネジメントの関係性
- 第 5 回 介護過程のプロセス：アセスメント
- 第 6 回 介護過程のプロセス：計画の立案
- 第 7 回 介護過程のプロセス：演習①
- 第 8 回 介護過程のプロセス：演習②
- 第 9 回 ICF を取り入れた介護過程の展開方法①(自己作成)
- 第 10 回 ICF を取り入れた介護過程の展開方法②(グループ演習)
- 第 11 回 ICF を取り入れた介護過程の展開方法③(自己作成)
- 第 12 回 ICF を取り入れた介護過程の展開方法④(グループ演習)
- 第 13 回 ICF を取り入れた介護過程の展開方法⑤(自己作成)
- 第 14 回 ICF を取り入れた介護過程の展開方法⑥(グループ演習)
- 第 15 回 まとめ

【授業実施方法】

講義および演習をおこなう。

【授業準備】

事例等から、クライアントの望む生活の実現に必要な支援内容について考えておくこと。ICF、生活支援、社会とのつながりを理解しておくこと。

【主な関連する科目】

介護総合演習、介護の基本、障害者福祉論、

【教科書等】

介護過程 (新・介護福祉士養成講座9 中央法規)

【参考文献】

田中安平：プロとしての介護福祉士を目指すあなたに、ラゲーナ出版、鹿児島市、2016年。

【成績評価方法】

講義・演習態度(20%)、レポート(20%)、定期試験(60%)

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

私は、通所介護のなかで、クライアントの生活歴や思いを引き出しながら、社会的役割の再構築を意識したケアを行ってきた。介護過程のなかでは「その人らしさ」をどのようなプロセスで、どのように実践するのか臨床場面が想像していけるような講義展開をおこなう。

【学生へのメッセージ】

介護過程について、ケアプランとの関係、チームケア、ICFの視点から理解を深める。そして、介護実習Ⅱにおいて学んだ知識に基づき、介護実践が行えるようにしてほしい。